

米谷出張所は、岩手県境から分流施設上流までの北上川を管理しています。
ここでは、出張所管内での様々な活動をお知らせいたします。

トピック 1 初冬に雄大な北上川を眺めながら走る 第31回 カップハーフマラソンが開催

12月4日(日)に恒例となった「第31回 カップハーフマラソン」(主催:登米市等)が登米総合体育館を発着し、北上川沿いを走る日本陸連公認コースで開催されました。

このマラソン大会には、全国各地より約3000人の方が参加し、北上川沿いの高低差が少ない平坦なコース(川沿いの高低差は約12m)を、清々しい冬晴れの下、川沿いの景色を楽しみながら、走ることができました。



登米市登米町寺池地内の北上川沿いの堤防(国道342号)を多勢のランナーが走りました



折返し地点になっている登米市中田町浅水地内でも堤防上を走るため、北上川がよく見えます



米谷出張所 管内図



トピック 2

地域を洪水から守るために ～水門等を操作する水位観測員さんの講習会を行いました～

12月6日(火)、石巻市河北総合センター(ビックバン)において水門等水位観測員講習会が実施されました。

水門等水位観測員は、水門等の近隣にお住まいで従事可能な方にご協力いただき、河川が洪水になった際に必要な水門・樋管のゲート操作を行い、河川から住宅地への洪水の逆流を防ぐなど地域の安全安心を守るために重要な役割を担っています。このため、観測員の方々に洪水時の対応、ゲート操作の注意点や施設点検のポイントなどを再確認して頂くために講習会を毎年実施しています。

講習会では、北上川下流河川事務所管内6出張所の観測員217名(米谷出張所管内からは35名)が出席し、日頃の点検時における注意点の確認や意見交換等も行いました。



講習会の様子

